

| グループ名 | ユニット名等 | 科 目 名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学期 |
|-------|--------------|--------|-------|-------|----|
| 英語 | 2 単位 基礎英語 | ライティング | 小林 俊哉 | 1 年次 | 春 |

| | |
|---------------|--|
| 授業のキーワード | 英語作文、基本的な英語の構造、センテンス、パラグラフ |
| 授業の概要 | センテンスのレベルからパラグラフのレベルに達するため、「英語を書く」ことを中心にそのプロセスを学びます。自覚的に書く、という作業は基礎的な英語力をつけるために最適です。 |
| 期待される学習成果（目標） | 1. 英語の基本構造が理解できます。 2. 英語を「意識的に」書く能力を体得できます。 3. 書くことを通して英語の総合的能力を会得できます。 |

授 業 展 開

| | テーマ | 内 容 | | テーマ | 内 容 |
|---------------------------|-----------|-----------------------------------|---------|------------------|---|
| 第 1 講 | 英語で書くこと | 英語で書くということはどういうことなのか、その基本を学びます。 | 第 9 講 | 受動態 | 能動態と受動態の基本を確認し、用法や意味の違いを学びます。 |
| 第 2 講 | 主語と名詞 | 主語とはなにかの確認をし、注意すべき名詞の用法について学びます。 | 第 10 講 | 準動詞 | 不定詞、動名詞、分詞についてそれぞれの働きを確認し、自由に使えるように訓練します。 |
| 第 3 講 | 冠詞と代名詞 | 日本人が非常に苦手とする冠詞、さらに代名詞の基本について学びます。 | 第 11 講 | 形容詞と副詞 | 形容詞と副詞の働きの仕組みを確認します。中間課題提出。 |
| 第 4 講 | 動詞と時制 | 動詞の基本を確認し、時制についても学びます。 | 第 12 講 | 比較表現と否定表現 | 物事の比較の方法や否定表現の全般について学びます。 |
| 第 5 講 | 動詞と時制 | 前講に引き続き、動詞と時制の仕組みについての学習を継続します。 | 第 13 講 | 関係詞 | 英語の躰きの石の一つ、関係詞を用いる英文について学びます。 |
| 第 6 講 | 進行形と完了形 | 動詞の学習を進め、進行形や完了について再確認します。 | 第 14 講 | 仮定法 | 異なる種類の仮定法の基本を学びます。 |
| 第 7 講 | 法助動詞と使役表現 | 法助動詞のさまざまな用法と使役表現について学びます。 | 第 15 講 | 前置詞、接続詞、話法、強調と倒置 | 前置詞、接続詞、話法、強調と倒置などの基本を確認します。 |
| 第 8 講 | 中間試験 | | 定期試験 | | 学期を通して学んだ基礎的な英語の構造に対する理解度をはかる試験を実施します。 |
| 評価方法 | | 中間試験 30% 中間課題 20% 期末試験 50% | | | |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | | | 参 考 文 献 | | |
| 福井慶一郎他 『基礎からはじめる英作文』（成美堂） | | | | | |